

全体的な計画 保育園夢未来

理念		0歳から就学前までの子育てを総合的に支援する															
保育方針	1.多様なニーズに応え、安心安全に預けられる保育。 2.子どもたち、一人一人の個性を尊重し長所を伸ばす保育。 3.常に家庭的環境を意識し、人間形成の基礎を養う保育。 4.豊かな感性を持ち、主体的・意欲的に生活し、自分を表現できる子どもに育てる。 5.仲間や周りの人々の存在を大切に思い、協力し助け合い喜びにできる子に育て			保育目標		1.個々の生命の維持と情緒の安定を図る。 2.基本的な生活習慣を身につけられつようにする。 3.生活や遊びの中で物事をよく見つめ考え探求する心を育む。 4.心身ともに健康で思いやりのある子を育てる。		幼児期の終わりまでに育ってほしい姿		ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現		保育時間 7:30 ~ 20:30					
	社会的責任		人権尊重		説明責任		情報保護		苦情解決		主な行事						
適切な施設として家庭や地域に対し、保育園の役割を果たす。		保育士等は保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられることを認識し、理解する。		保護者・地域と連携を図り、透明性のある運営をすることで一方的な「説明」でなく分かりやすく応答的な「説明」をする。		保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なく漏らしてはならない。(児童福祉法第18条の22)		苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置を行ない、書面における体制の整備を行なう。全職員間で共通理解を図る。		入園式・保護者会・園外保育・夏祭り・運動会・卒園式・誕生会他季節の伝統行事等							
発達過程				地域の実態に対応した事業				長時間保育				小学校との連携					
保育所保育指針の保育の内容を前提に年齢別に分かれて指導計画がなされている。又子ども一人一人の成長段階をふまえ、養護と教育が一体となり保育は展開される。				周りには新しいマンションが増加し若年層の夫婦が多い。地域のニーズにより一時保育を行い地域の子育てを応援する。				子どもの発達、生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、通常保育とのバランスを考慮し一日の疲れや保護者を持つ気持ちを受け止め、温かい対応を行なう。家庭との密接な連携を行なうと共に、職員間の協力体制と子どもの正確な情報の伝達を通し、子どもが不安を抱くことなく過ごせる環境と保育を保障する。				・保育所児童保育要録を小学校へ送付					
		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		就学前			
子どもの保育目標		個々の生活リズムを整え基本的な生活習慣を養う		安心できる保育者との関係の下で自分でしようとする気持ちが芽生える		衛生的で安全な環境で心身ともに快適な生活を送る		保育者や友達と遊ぶ中で自分のしたいこと、言いたい事を言葉や行動で表現する		保育者や友達と一緒に遊びながらつながりを広げ集団としての行動ができるようになる		生活や遊びの中で一つの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感をみんなで味わう		集団活動の中で意欲的に活動し知識や能力を獲得する			
養護	年齢	生後43日～6か月		6か月～1歳3ヶ月未満		1歳3ヶ月～2歳未満		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		就学前(到達点)	
	生命の保持	・家庭との連絡を密に取り、一人一人の健康状態を把握し、生活リズムを整えていく。 ・生理的欲求を満たし、気持ちよく生活できるようにする。		・一人一人の生活リズムを大切に、授乳・睡眠・食事が出来るようにする。		・保育士等との信頼関係を育みながら快適な生活や生理的欲求を満たすことができるようにする。		基本的な生活習慣の習得を、個々に合わせて援助し、一人できた喜びを味わい、自信が持てるようになる。		・生活の流れや基本的な生活習慣を身につけられるよう援助する。		・身の回りのことなど自分でできることは自分でする。 ・自分の体調の変化に気づくようになり、運動量も増し活発になるので十分な運動ができるように配慮する		・基本的な生活習慣が身につく、自分でできることに自信や満足感を持てるようになる。		運動と休息のバランスや調和を取り、基本的な生活習慣を身につける。	
	情緒の安定	・子どもが示す様々な行動や欲求に適切に応え、応答的なふれあいや言葉かけを行い、安心して過ごせるようにする。		・スキンシップにより、保育士等との関わり心地よさ、安心感を得るように接する。		・保育士等との信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表わす事ができるようにする。		・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感してもらいながら安心して過ごす。		・保育士等との信頼関係の中で、自分の気持ちを表したり、情緒の安定した生活ができるようになる。		・子ども同士の遊びを豊かにし、友だちとの関係の中で、徐々に自分が発揮できるようにする。		・生活リズムを整えることの大切さを理解できるようにする。		・生活リズムに応じた活動内容の調和を図り、休息がとれるようにする。	
教育	3つの視点	・安全で、愛情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、発達に応じて十分に体を動かす。 ・個人差、一人一人の生活のリズムを大切に、授乳・離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。 ・十分に睡眠をとり、おむつ替え・衣類の着脱などを通して、清潔になることの心地よさを感じる。		健康		・身の周りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生える。 ・安定した睡眠を取る。		・生活の中で援助してもらいながら、自分でできた事に喜びを感じる。 ・保育士の言葉かけで、危険なことを知る。		・身の周りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。		自分の身体に、関心を持ち、異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。		・自分の体に興味を持ち、健康的な生活を送るために必要な生活習慣を身につける。 ・心地良い生活をするためにマナーの必要性がわかり守って行動する。		・健康とは生きる事の基本であることがわかり、自分の体を大切にすることを考える。 ・危険から身を守る注意力を身につけ、行動する。	
	健全な伸び伸びと育つ<身体的発達>			人間関係		保育士等に見守られながら、身近な大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする。 ・保育士等との信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表わす事ができるようにする。		・自分の気持ちを言葉やしぐさで伝えながら友だちと一緒に遊ぶ中で相手の気持ちの思いに触れる。		・友だちと同じ活動に参加して、みんなと一緒にすることを楽しむ。 ・簡単なルールのある遊びが分かるようになり、きまりや約束事を守ろうとする。		人からの親切に対して、心地良さを感知し、友だちの気持ちがわかり、親切にすることを喜ぶ。		・みんなで協力し一つの目標に向かって頑張る事の大切さや素晴らしさを知る。 ・身の周りの様々な人に関心を深め、親しみをもち接する。		・社会生活における、決まり事を理解し、必要な習慣や態度を身につけて自分の力で行動する。 ・遊びや行事を通して友だちを応援したり、力を合わせる事の大切さをしる。	
	身近な人と気持ちが通じ合う<社会的発達>	・応答的な触れ合いや言葉かけ、保育士等とのやり取りを楽しむ中で、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。 ・自分の身近な人の存在に気付き、その人達との温かい関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 ・保育士等による語りかけや歌いかけ、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。		環境		・好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 ・毎日の生活の繰り返しの流れがわかるようになってくる。		・身近な自然(動植物や季節の移り変わり)と触れ合う中で、好奇心や探究心が生まれてくる。		・戸外遊びを通じ、経験したことを遊びに取り入れるなど、豊かな感性や、好奇心が養われる。 ・色・数・量・形の違いに気づく。		身近な物や遊具に興味を持って関わり考えたり、試したりして、工夫して遊ぶ。		・自然現象の美しさ、不思議さに感動する。 ・日常生活に必要な物を注意深く見たり、扱ったりして数量・図形・時間・位置の違いなどに関心を持つ。		・身近な事象を見たり考えたりする中で、物の性質や時刻・数量・文字などに対する関心を深める。 ・自然界の美しさ・不思議さに感動する。	
	身近なものとの関わり感性が育つ<精神的発達>			言葉		・保育士等の語りかけを喜び、言葉を使う事を楽しむ。 ・保育士等と一緒に言葉の繰り返しの楽しみ、手遊び・つもり遊びをしながら言葉を覚えていく。		・生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを楽しんで見たり、聞いたり、繰り返しの言葉の模倣を楽しむ。		・絵本や紙芝居などを楽しんでその内容の面白さを知る。 ・自分の考えを言葉に変えて表現できる。		・絵本などに興味を持ち、イメージを広げながら友だちとの会話を楽しむ。 ・人の話を聞いたり自分の体験したことを話したりして伝え合う楽しさを味わう。		・人の話を聞く事の大切さを知り、文字・記号などに関心を持って使う楽しさを知る。 ・自分の感じた事や考えた事を相手にわかりやすいように話す。		・人の話を聞く大切さを知り、言葉を通して内容を理解する楽しさを知る。 ・日常生活の中で、文字で伝える楽しさを知る。 ・自分の経験や思い、考えを自分の言葉で話し伝える。	
		・身近な玩具、絵本等に興味や好奇心を持ち、様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付き、感覚の働きを豊かにする。 ・身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。 ・歌やリズムに合わせて手足や体を動かして喜んだり楽しんだりする。		表現		・保育士等と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、体全体、両手両足をしっかり使って遊ぶ。 ・保育士等と一緒に簡単なごっこ遊びができるようになる。 ・イメージをふくらませ、その世界を自分で楽しむ。 ・興味を持った事柄を言葉や体で表現したり、模倣して遊ぶようになる。		・いろいろな素材や用具に親しみ、簡単な楽器遊びやリズム遊びを楽しむ。 ・自分なりに感じた事や思った事を表現して遊ぶ。		・生活の中で様々な音・色・形・手触り、動き、味、香り等に気付いたり感じたりして楽しむ。		・感じたこと表現した事を言葉・体・音楽・造形など自由な方法で感性豊かに表現して楽しむ。 ・イメージをふくらませ、豊かに表現する。		・感じた事、表現した言葉や体、音楽、造形など自由な方法で感性豊かに表現して楽しむ。 ・共通の目的に向かって協力しあい、一緒に作り上げることを楽しむ			
食育	安定した人間関係の中で、適切な援助により食に対する意欲を持つ。		いろいろな食べ物を見る触る、噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。		・いろいろな種類の食べ物や、噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。 ・食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。		・楽しい雰囲気の中で食事のマナーを身につける。 ・保育士等や友だちと一緒に食べる楽しさを味わう。		・食事に必要な習慣、マナーを知り、自ら進んでおこなう。 ・いろいろな食べ物に興味を持ち健康な体つくりをする。		・健康と食べ物との関係について感心を持つ。 ・季節の食に関心を持ち、積極的に食に関わる。		・食事と栄養のバランス(三食表)に興味を持ちながら食事をとる。 ・食べ物に感謝の気持ちを持ち、食を楽しむ。				
健康支援	健康発育発達状態の把握・心身状態や家族生活養育状態の把握・内科健診						研修計画		・本部研修・交換研修・認証保育所研修・園内研修(保育内容・役割別等)・外部講師による研修								
環境・衛生管理	施設内の設備用具等の清掃及び消毒・安全管理及び自主点検(月一回)・全職員の検便(毎月)						特色のある保育		・英語教室・体操教室等								
安全対策・事故防止	毎月の避難訓練(火災・地震・防犯)・消火訓練・引渡訓練(年1回)						地域への行事参加		・町内会のおまつり・ハロウィン散歩								
保護者地域への支援	育児相談支援・実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ						自己評価		年間計画や週案、個人行動記録をもとに行う								